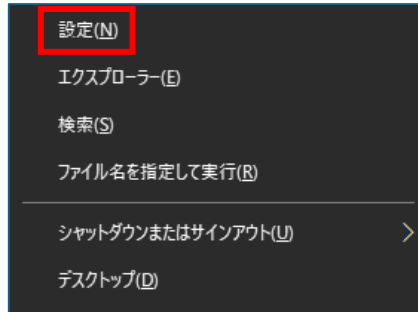


質問：Panasonic製顔認証付きカードリーダーの管理画面で、【102：顔の撮影不可】と表示されました。対処方法を教えてください

回答：以下の手順に沿って、USB・カメラ関連設定の確認を実施してください。

手順① 顔認証用カメラのプライバシー設定を確認します

・タスクバー上のスタートボタン（Windowsロゴ）を右クリックし、表示されたメニューから「設定」を選択します。

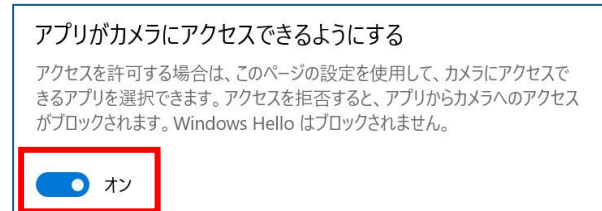
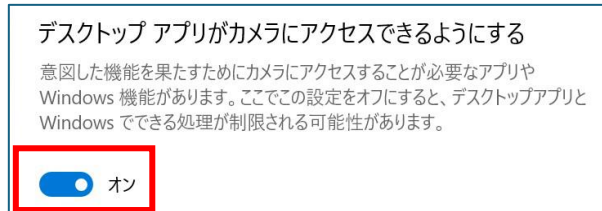


・表示されたウィンドウから「プライバシー」をクリックし、表示された「設定」画面左側より「カメラ」を選択します。



・表示された画面にて「アプリがカメラにアクセスできるようにする」と「デスクトップ アプリがカメラにアクセスできるようにする」が2か所とも「オン」になっていることを確認してください。

※「オフ」になっている場合は「オン」に変更してください



本機側



資格確認端末側(管理画面)

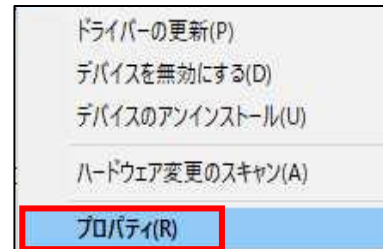
手順② 顔認証付きカードリーダー関連の各デバイスの電源の設定（省電力設定）を確認します

- ・アプリケーションソフトが起動している状態で、「Windowsキー」を押しながら「X」キーを押し、表示された一覧より「デバイスマネージャー」を開きます。
- ・デバイスマネージャー内の「カメラ」の図中の記号「>」の部分をクリックし、表示された「Intel(R) RealSense(TM)・・・」を選択した状態で、「表示」タブから「デバイス（接続別）」を選択します。
- ・顔認証付きカードリーダーの各デバイスが次の様に表示されます。
※一部非表示になっている場合は、図中の記号「>」の部分をクリックして、非表示部分を展開させ表示させてください



・以下デバイス①～⑤の電源の設定（省電力設定）を確認します。

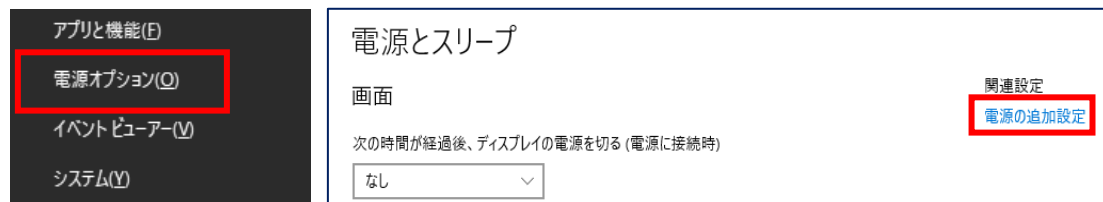
対象のデバイスの内一つを選択し、右クリックで表示される一覧から「プロパティ」を選択します。表示されたプロパティの画面から、「電源の管理」タブを選択します。電力の節約の設定箇所に「チェックマーク（✓）」が入っていないこと（空欄であること）を確認します
※デバイス①～⑤の全てに対して確認します



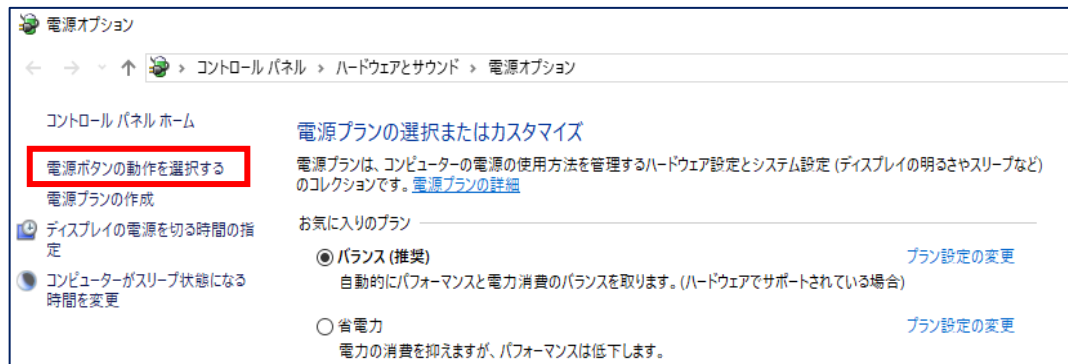
※設定箇所にチェックマーク（✓）が入っている場合は、クリックして外します

手順③ 高速スタートアップが無効化されているか確認します

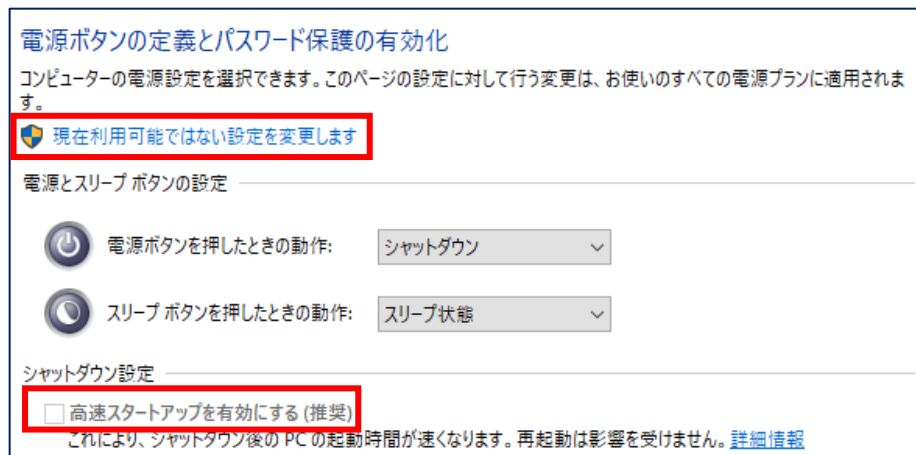
- 「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「電源オプション」をクリックします。表示されたウィンドウから「電源の追加設定」をクリックします。



- 表示されたウィンドウから「電源ボタンの動作を選択する」をクリックして「システム設定」ウィンドウを表示します。



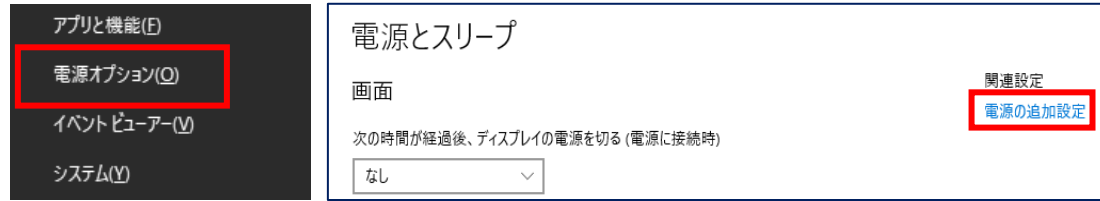
- 「システム設定」ウィンドウにて「現在利用可能ではない設定を変更します」をクリックし、「高速スタートアップを有効にする（推奨）」の設定箇所、「チェックマーク（✓）」が入っていないこと（空欄であること）を確認します。



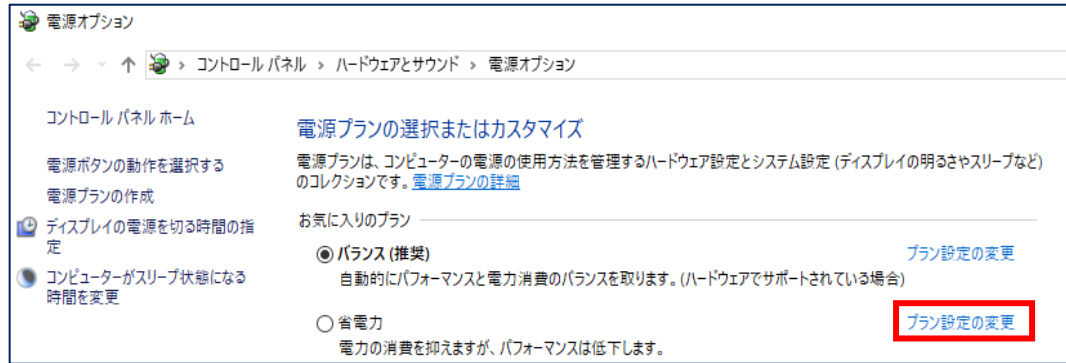
※チェックされている場合はチェックを外してください
※設定項目が無い場合は、次の手順④にお進みください

手順④ USBセレクトティブサスペンドが無効化されているか確認します

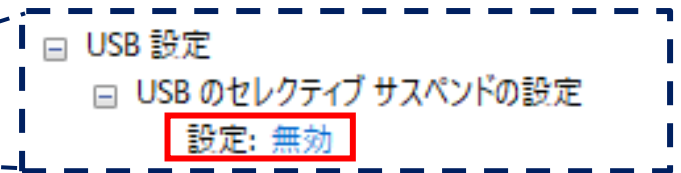
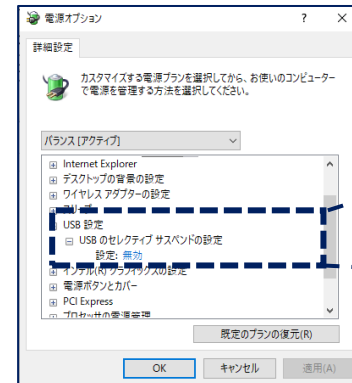
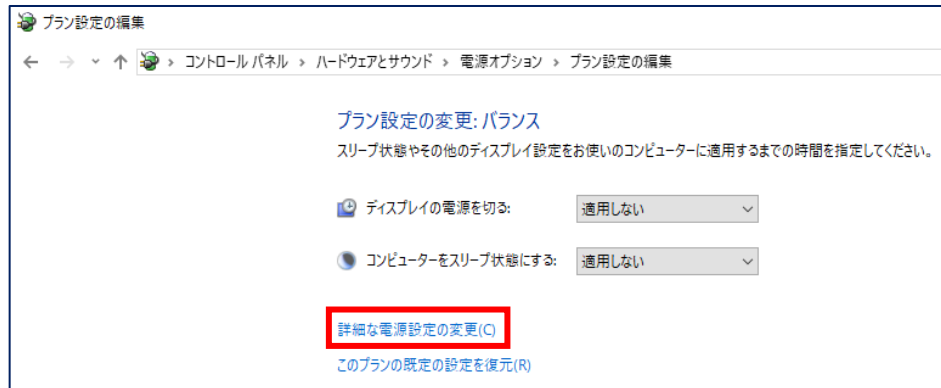
- 「Windows」キーを押しながら「X」キーを押し、表示された一覧から「電源オプション」をクリックします。表示されたウィンドウから「電源の追加設定」をクリックします。



- 表示されたウィンドウから「プラン設定の変更」をクリックします。



- 表示されている画面より「詳細な電源設定の変更」をクリックし、表示されたウィンドウにて「USB設定」の項目を選択（展開）し「USBのセレクトティブサスペンドの設定」が「設定：無効」となっていることを確認してください。



※「設定：有効」となっている場合は「設定：無効」に変更してください。
※「USB設定」の項目が無い場合は、次の手順⑤にお進みください

手順⑤ 管理画面からアプリケーションソフトを終了し、資格確認端末（パソコン）を再起動します。資格確認端末（パソコン）の再起動後、事象の発生状況を確認してください

本内容で解決に至らない場合、ご不明な点等ございましたら、当社お問い合わせ窓口までご連絡をお願いします。